



りんご袋(一重袋)の使用法

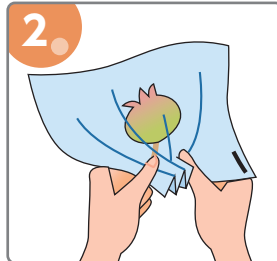
○ 袋掛けの時期

落花後50日頃、掛けて下さい。(摘果は事前に行って下さい。) また、袋掛けは、晴天日の午前10時頃から午後3時頃までの間が最適です。

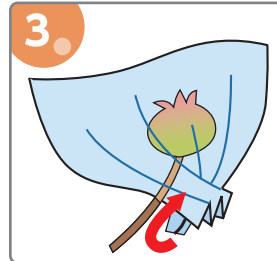
○ 袋の掛け方



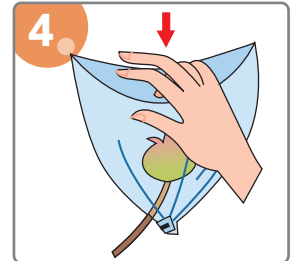
あらかじめ袋をふくらませておき、果実を袋内中央に入れ、果梗を切込みに差し込む。



口元を左側から寄せる。



止金を下から巻きしっかり折る。



袋の底をたたいてへこませ、風船状にする。

注意

乾いた果実に掛けて下さい。
(果実がぬれたまま袋掛けすると、病気が発生しやすくなります。)

袋で病害虫を防除することはできません。
被袋前・後の薬剤散布は行って下さい。

初めて使用する場合は、試し掛けをおすすめします。

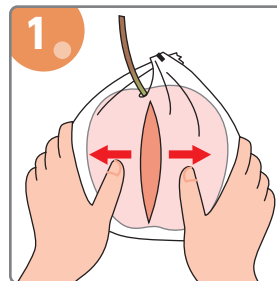
りんごの育成用以外の目的に使用しないで下さい。

○ 除袋の時期

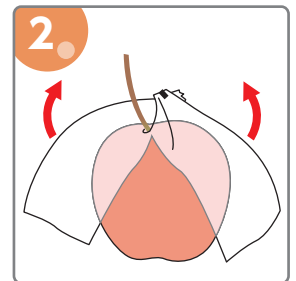
- ◎早生種(つがるなど) 収穫前10～14日
- ◎中生種(千秋・玉林など) 収穫前15～20日
- ◎晩生種(ふじなど) 収穫前30～40日

注意/ 除袋は曇天日、または晴天日の午前10時頃から午後3時頃までの間に行って下さい。

○ 除袋の仕方



両手でまん中のミシン目からやぶる。



袋の両端を持ち上げるようにして開き、袋を取り除く。